
うしろに

石子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うしろに

【著者名】

NZマーク

N8453D

【作者名】

石子

【あらすじ】

おねえちゃんが待つてゐるから、早くお家に帰りな。

今？ 今は駅にいるよ。

お家までは10分もかかるないと黙つたけど。
なんだか遅くなつちゃつた。もつと早く帰るつもりだつたんだけ
どな。

もう暗くなつちゃつたねえ。

え？ 声が聞こえにくく？ おかしいなあ。あ。そういうえば電話
機の調子が悪いってママが言つてたよね。あつとそのせこじやない？
だつて、ワタシにはおねえちゃんの声、よく聞こえるよ。
でね、さつきの話の続きなんだけど……。

今度パパの休みが取れたらみんなでピクニックに行くつて話だよ。
ワタシすく楽しみなんだけど、パパつたら仕事が忙しつてなか
なか連れて行つてくれないよね。

あれ？ おねえちゃんだつて、すく楽しみにしてたでしょう？
ワタシが着る服だつて、せつかくおねえちゃんが選んでくれたの
に……ピクニックに行けないんじゃあ、着る機会がなくなつちゃつ
よ。

なに？ その話はもうここ、つて？

ああ。おねえちゃん、この前そのことでパパと喧嘩してたもんね
え？ そんなこと関係ないつて……。

じゃあ、ちょっとはワタシの話にも付き合つてよ。いつもはワタ
シの方がおねえちゃんの話を聞いてるんだから。たまにはワタシの
話も聞いてよね。

……でも、そうだよね。行けないピクニックの話してもしう
がないもんね。

じゃあ、違う話なんだけどね。

おねえちゃん、前に都市伝説が載つてる本、友達に借りて読んで

たでしょ？ 車のバックミラーに幽霊が映つてたり、人形の髪の毛が伸びたりするような話。

なによ？ この話もやめろ、って？

なんか、さつきからワタシが話すことに否定的だね。

そつか、確かにねえちゃんこいついう話苦手だつたよね。あの本も、おもしろいからって無理やり押し付けられたって言ってたつけ。それにしてもねえちゃんは怖がりだなあ。怖がるような話じやないのに。

そういうえば、今日は確かにパパもママも仕事で遅くなる日だよね。お家にはおねえちゃん一人だけなんだ？

小さい頃はさ、心細くなるとよく手を繋いでパパとママの帰りを待つてたよね。最近そういうこともなくなっちゃつたけど。ちょっと懐かしいなあ。

……そうそう。話がそれちゃつたよ。

つまり、ワタシが言いたいのはね。そういう都市伝説つて、馬鹿馬鹿しいって思う人も多いんだろうけど意外とあなどれないなって思うんだ。

うん？ やっぱりそんな話聞きたくない、って？

やだなあ。別に怖がらせるために言つてるんじゃないんだよ。あ。もう公園の角のところまで来たよ。お家までもうすぐ。

あー！ ダメダメ！ 切らないで。

ひどいなあ、おねえちゃん。ワタシの話はこれからなのに。あのね。その本に書いてあつたよね。捨てた人形がその持ち主のお家に帰つて来る話。

まず持ち主に電話がかかってきてさ、「何で私を捨てたの？」みたいなことを言つんだよね。ワタシは、そんな恨みがましいこと言う人形なんて人形として失格だと思うんだけどね。

で、その人形は「今家に帰ろうとしているのよ」って言つて、自分が今いる場所を言つたね。

そしてしばらくしてからまた電話がかかってきて、また人形が居

場所を言つと前よりもお家に近づいてる。そんなやり取りが何回かあって、最後にかかつてきた電話では「今あなたのうじろにいるの」って言つたよ。

覚えてる? その話を本で読んだとき、おねえちゃん怖がつてたよねー。

隣にいたワタシにもその話を読み上げてくれたんだよ。

そんなに怖いなら読まなければいいのに、ってその時は思つたんだけどね。

でも、今となつては、ワタシが悪いのは……。

その話がそんなに怖かつたなんひ、ワタシのこと捨てなればよかつたのに。

前はどうでもワタシのことを連れて行つて、みんなに「私の妹なの」って紹介してくれたのにね。

ママに言われたから、つていう理由で捨てられた妹の気持ち、わかるかな?

今……?

おねえちゃんのうじろにいるよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8453d/>

うしろに

2010年10月11日02時23分発行